

シカケコンテストの実施と受賞シカケの実践

Practice of Shikake-Contest and Implementation of awarded Shikake

中村昌平¹ 松木悟² 中津壮人³ 松村真宏⁴

Shohei Nakamura¹, Satoru Matsuki², Takehito Nakatsu³, and Naohiro Matsumura⁴

¹ 大阪大学共創機構 ¹Co-Creation Bureau, Osaka University

² 豊中市都市計画推進部 ²City Planning Promotion Department, Toyonaka city

³ マーケティング ³Mergetects

⁴ 大阪大学大学院経済学研究科 ⁴Graduate School of Economics, Osaka University

Abstract: We held Shikake-Contest 2019 and many elementary school students applied their ideas for shikake. We evaluated and scored them from the viewpoints of usefulness, feasibility and originality. We selected and commended some excellent ideas for shikake. We implemented one of awarded ideas for shikake around Senri-Chuo station, and confirmed its effectiveness. We found that Shikake-Contest could provide an opportunity for elementary school students to think about shikake and help companies solve the problems they have.

1. はじめに

仕掛けとは、何らかの問題を解決するように人の行動を促すキッカケのことである。仕掛けの中には、専門的な知識がなくても、また少ないコストでも、考案・実現できるものも多い。これらの「ちょっとした」仕掛けは、以下の理由から小学生の夏休みの自由研究として適していると考えられる。

- ・仕掛けを考えることは社会の問題に目を向けることになる
- ・仕掛けを考えることで自らその問題を解決しようとする力を養うことにつながる
- ・若い感性で固定観念に縛られない独創的な仕掛けを考えることができる

そこで筆者らは、小学生の考えた仕掛けのアイデアを募集するコンテスト「シカケコンテスト 2019」を開催した。「仕掛け」をカタカナ表記の「シカケ」としたのは、対象が小学生であるのと、幅広い意味をもつ普通名詞の「仕掛け」と区別するためである。夏休みの時期に開催することで、自由研究の課題として実施した内容をそのまま応募できることを企図した。

シカケコンテスト 2019 には、多くのシカケのアイデアが応募された。受賞したシカケのうち1つを実践し、その効果を調査した。本稿では、シカケコンテストの実施と受賞したシカケの実践について報告する。

2. シカケコンテスト 2019

2.1 開催概要

シカケコンテスト 2019 を下記の要領で開催した。

- ・募集対象：小学生
- ・募集期間：2019年7月20日～8月25日
- ・募集テーマ：
 - ①夏でも湯ぶねにつかかって入浴したくなるシカケ
 - ②ひとつ上の階に行きたくなるシカケ
 - ③めいわく駐輪・めいわく駐車をなくすシカケ
 - ④フリーテーマ
- ・募集内容：
 - ①シカケの名前②シカケの説明③シカケイメージ図
- ・主催：大阪大学シカケラボ
- ・共催：イオン SENRITO 専門館、せんちゅうパル
- ・協力：大阪ガス株式会社
- ・後援：豊中市

募集に使用したチラシを図1に示す。応募者が自由にシカケを考えられるフリーテーマの他に、共催企業と協力企業が抱える課題を募集のテーマとして提供してもらった。これは仕掛けが持つ目的の二重性¹⁾のうち仕掛ける方の目的をあらかじめ用意することでシカケを考えてもらいやすくするためである。コンテスト開催と合わせて、2019年8月5日に「シカケコンテスト講演会」も実施した。応募者のモチベーションを向上させるため、入賞者への景品の提供も行なった。



図1 シカケコンテスト 2019 の募集チラシ

2.2 審査方法

シカケのアイデアを審査するため、有用性、実現可能性、独創性の3つを審査基準とした。有用性は、シカケの効果がより大きい方がより良いシカケであると考えたからである。実現可能性は、どんなに考案したシカケの効果が大きいても、技術的・経済的に実現可能なものでなければ効果を発揮しえないと考えたからである。独創性は、シカケコンテスト開催の目的を鑑み、既知のものより新規性のあるシカケを評価すべきと考えたからである。

審査は、筆者らがそれぞれの審査基準について5点を持ち点として満点15点で採点を行った。共催企業、協力企業から提供してもらったテーマについては各企業にも採点をしてもらった。それぞれの点を平均し、各アイデアの得点とした。

各アイデアの得点を踏まえた上で筆者らと共催企業、協力企業とで協議を重ねて最終的な審査結果を決定した。

2.3 審査結果

応募総数23件について審査を行い、審査結果は以下の通りとなった。

最優秀賞

- ・坂本優季さん(小4)「そうじをすると音なる水そう」(テーマ:フリーテーマ)
- ・梶谷俊介さん(小1)「凍るおもちゃが見たいぞー!」(テーマ:夏でも湯がねにつかって入浴したくなるシカケ)

優秀賞

- ・岩本莉子さん(小6)「ラベルの行く先」(テーマ:フリーテーマ)

- ・本多優人さん(小2)「きれいで可愛いトリックアート」(テーマ:めいわく駐輪・めいわく駐車をなくすシカケ)
- ・岡啓太さん(小3)「階段を登らないと答えがわからない宝さがしクイズ」(テーマ:ひとつ上の階に行きたくなるシカケ)
- ・岡幸太郎さん(小5)「小銭が邪魔な大人と小銭で遊びたい子どものおみくじマシーン」(テーマ:ひとつ上の階に行きたくなるシカケ)
- ・峰重圭斗さん(小3)「なぞなぞ」(テーマ:ひとつ上の階に行きたくなるシカケ)

3. 受賞シカケの実践

3.1 実践方法

受賞したシカケの中から実施できそうなものがないか筆者らと共催企業、協力企業とで協議を行い、本多優人さんの「きれいで可愛いトリックアート」を実践し、シカケの効果を調査することとした。本シカケは、めいわく駐輪・めいわく駐車が多いエリアにきれいで可愛いトリックアートの花を置くことで、めいわく駐輪・めいわく駐車をなくそうというシカケである。特定の位置から見ると花壇に見えるトリックアートをめいわく駐輪・めいわく駐車が多いエリアに設置する。設置したシカケの様子を図2に示す。



図2 実施したシカケの様子

シカケの効果を調査するため、豊中市 千里中央駅周辺を対象として、シカケの設置前と設置後でめいわく駐輪・めいわく駐車をしている自転車やバイクの台数の比較を行なった。図3の①~④のエリアについて、①のエリアでのみシカケを設置し、②~④のエリアでは自転車とバイクの台数の計測のみを行なった。シカケの設置前、設置後ともに午前(10時)に4日間、午後(18時)に6日間、自転車とバイクの台数を計測しそれらの平均値を比較した。

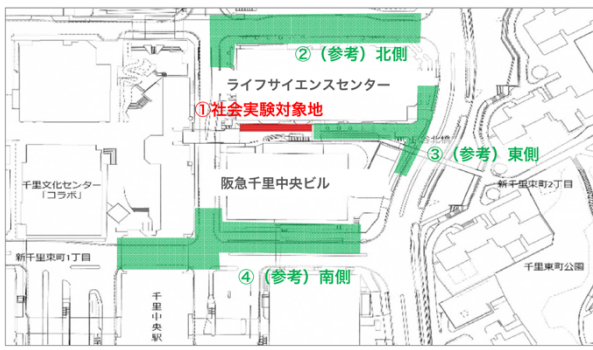


図3 めいわく駐輪・めいわく駐車の計測エリア

3.2 実践結果

実践の結果を図3、図4のグラフに示す。

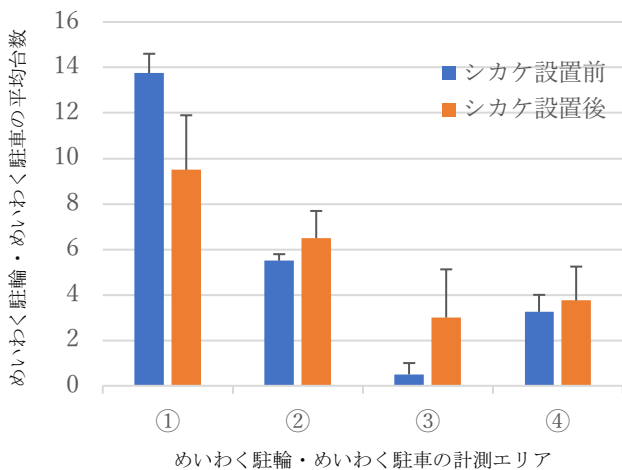


図3 午前のめいわく駐輪・めいわく駐車の平均台数 (平均値+標準誤差)

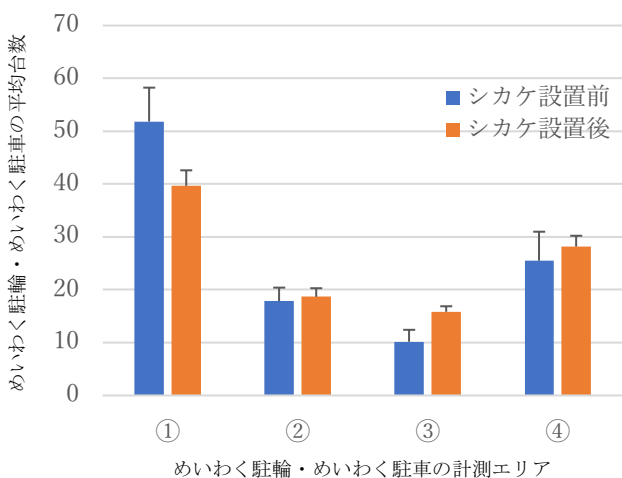


図4 午後のめいわく駐輪・めいわく駐車の平均台数 (平均値+標準誤差)

午前でも午後でもシカケを設置した①のエリアのみめいわく駐輪・めいわく駐車の平均台数が減少した。得られた結果からシカケが効果を発揮し、めいわく駐輪・めいわく駐車を止めたと考えられる。その他のエリア特に③のエリアで、シカケ設置後に午前でも午後でもめいわく駐輪・めいわく駐車の台数が若干増加した。これは設置したシカケの影響で①のエリアには駐輪・駐車できなかったものの、別のエリア、隣接する③のエリアに移動して駐輪・駐車した可能性が考えられる。

4. まとめ

シカケコンテスト2019を実施して、小学生から応募してもらい、たくさんのシカケのアイデアが集まった。応募されたシカケのアイデアについて、有用性、実現可能性、独創性の観点から評価・採点し、優秀なシカケのアイデアを表彰した。表彰されたシカケの中から共催企業と協力企業が実践しやすいアイデアを選び、千里中央駅で実践し、その有効性を確認した。これはまだ専門性を持たない小学生でも社会にとって有益なシカケを考案できるということである。シカケコンテストが、小学生がシカケを考えるきっかけになり、企業が抱える課題の解決に繋がることがわかった。シカケコンテストの次年度以降の課題として、応募総数をさらに増やしたい。今後も引き続きシカケコンテストを開催し、多くのシカケアイデアを募集しながら、世の中の課題の解決を目指したい。

謝辞

シカケコンテスト2019は、イオン SENRITO 専門館とせんちゅうパルの共催と大阪ガス株式会社の協力、豊中市の後援によって実施できた。また、受賞シカケの実施には、イオン SENRITO 専門館の 후원により実施できた。シカケコンテストにはたくさんのご応募をいただいた。関係していただいた皆様に感謝の意を表す。

参考文献

- [1] 松村真宏: 仕掛学, 東洋経済新報社 (2016)